

平成26年度

(第2/3回)

地域住民の参加による多様な森林保全

実施要領

平成26年8月

独立行政法人国際協力機構(JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. 案件基本情報	1
2. 案件の背景・目的	1
3. 案件目標	2
4. 単元目標	2
5. 研修成果品	2
6. 研修員参加資格要件	3
7. 研修実施体制	3
8. 研修の評価	4
9. 研修付帯プログラム	5
10. 主な宿泊場所	6
11. その他	6

参考資料

付表－1 研修員関連情報

付表－2 研修日程表(案)

付表－3 年度別受入実績表

1. 案件基本情報

(1) 案件名

和文: 地域住民の参加による多様な森林保全

英文: Group Training Program on “Various Forest Conservation with Community Participation”

(2) 受入期間

平成 26 年 8 月 12 日(火)～ 11 月 14 日(金)

(3) 技術研修期間

平成 26 年 8 月 18 日(月)～ 11 月 13 日(木)

(4) 定員、割当国

定 員: 14 名 (受入数 14 名)

割当国: タイ、カンボジア、ラオス、東ティモール、ミャンマー、インド、ネパール、パプアニューギニア、エチオピア、ケニア、マラウイ、タンザニア、ブルキナファソ

(5) 使用言語: 英語

2. 案件の背景・目的

森林資源の重要性が認識されて久しく、その森林資源が人類のために有効に利用され、再生されることの必要性を多くの世界の人々が認識することが重要である。

このため、本案件では、

- ①わが国の森林の歴史と役割、森林行政、住民の参加などによる森林の保全・造成に関する制度、取組みの理解、
- ②森林資源と人間活動が共生可能な森林施業、森林造成、利用技術に関する知識、技術習得のための機会を講義、実習、視察を通じた本邦研修により参加者に提供し、

開発途上各国にて森林の保全、人間と森林の共生、森林造成、育成促進に貢献できる中核人材を育成することを目的とする。

3. 案件目標

森林保全などの事業を地域住民参加型で実施するために必要な普及指導方法が、所属組織の関連部署に共有される。

4. 単元目標

- (1) 地域住民の参加による多様な森林保全が効果的に成果を生み出す手法を説明できる。
- (2) 森林資源の把握と森林の活用手法を実践できる。
- (3) 森林の生物多様性保全上の役割を説明できる。
- (4) 習得した森林・林業に関する知識・技術を実践できる。

5. 研修成果品

(1) 本邦研修実施前

「初期報告書(Inception Report)」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題やそれに対する現在の組織としての対策・枠組みをまとめ、本邦での研修開始時に発表する。

(2) 本邦研修終了時

「中間報告書(Interim Report)」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に活動計画(案)を作成し、本邦研修終了時に発表する。

(3) 帰国後の事後活動

「最終報告書(Final Report)」の作成

研修員は帰国後、中間報告書に書かれた活動計画(案)を所属組織に報告、関係者と共有のうえ、最終的な活動計画(案)をまとめ、帰国後3ヶ月以内に JICA 北海道(帯広)に提

出する。JICA 北海道(帯広)は同報告書を関係者と共有のうえ、次年度以降に実施される研修項目に内容をフィードバックし、必要に応じフォローアップを検討する。

6. 研修員参加資格要件

(本案件資格要件)

- (1) 森林保全にかかる普及活動に従事している者。
- (2) 森林保全管理を含めた森林・林業の基礎的知識を有し、森林保全など関連業務を 3 年以上経験した者。
- (3) 野外活動が多いため、十分な体力がある者。

(各案件共通資格要件)

- (4) 所定の手続きにより割当国政府から推薦されること。
- (5) 大学卒業あるいは同等の学力を有すること。
- (6) TOEFL iBT 72 点(CBT 200 点/PBT 533 点)以上に相当する英語能力を有すること。
- (7) 心身ともに健康なこと。
- (8) 軍に属していないこと。

7. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構北海道国際センター(帯広)が計画するコースの実施に関する業務を一般社団法人海外林業コンサルタンツ協会(JOFCA)に委託し、関係諸機関の協力により実施・運営する。研修期間中、JICA は研修監理員を配置する。

具体的な業務分担は次のとおり。

(1) JICA

ア. 研修計画作成

イ. 評価

ウ. 実施予算の確保、執行管理

エ. 募集要項および実施要領等の作成 等

(2) JOFCA

ア. 日程表の作成・調整

イ. 講師、視察先等への連絡・確認

ウ. テキスト、資料等の手配 等

(3) コースリーダー

研修の計画、実施、評価の全般にわたる助言 等

(4) 研修監理員

ア. 関係者間の連絡調整

イ. 通訳・翻訳 等

8. 研修の評価

(1) 評価の目的

研修目標に向け、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に当初目標の達成度を
確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による到達目標の達成度把握

イ. 研修員が提出する質問票による評価

ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 反省会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき JICA 北海道(帯広)、JOFCA が参加し、研修の目

的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度のコース改善に向けて対応方針を検討する。

9. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

来日直後にJICA北海道(帯広)で実施する。JICA業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

JICA 北海道(帯広)にて、日本の社会と日本人、日本の政治・行政、経済、教育などを紹介する。

(3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として4. 5時間の日本語講習を実施する。

付帯プログラム日程(予定)

日 程	内 容
8 月 13 日(水) 夕刻	ブリーフィング 日本語研修
14 日(木) 午前 午後 夕刻	ジェネラルオリエンテーション 「日本の政治・行政機構」 「日本の経済」「日本の教育」 日本語研修
15 日(金) 夕刻	日本語講習

10. 主な宿泊場所

北海道国際センター(帯広)

所在地: 〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1-2

Tel(0155)35-1210 Fax(0155)35-1250

11. その他

(1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

(3) 国際理解教育

国際理解教育の支援のため、本コースに地域の小中学校の生徒や住民との相互理解のためのプログラムが一部含まれている。

以上

平成26年度(課題別 研修)「地域住民の参加による多様な森林保全」コース
Various Forest Conservation with Community Participation

技術研修期間:平成26年8月18日(月)から平成26年11月14日(木) 88日間 (来日8月12日・帰国11月15日) 14名

月日	曜日	形態	項目	プログラム	講師または担当機関	宿泊
8/12	火			来日	JICA北海道(帯広)	帯広
8/13	水			ブリーフィング/オリエンテーション	"	"
8/14	木			ブリーフィング/オリエンテーション/日本語研修	"	"
8/15	金			日本語研修	"	"
8/16	土			日本語研修	"	"
8/17	日			休日		"
8/18	月		(OBIC→市役所)	市長教養(9:15~9:45) コースオリエンテーション(10:30~11:30) 研修員とのディスカッション(13:30~16:00)	帯広市市民活動部観光交流課長 JICA/JOICA 参考 長縄 肇	"
8/19	火		インセプションレポート発表会	インセプションレポート発表会 (15分/人×14人×9:30~12:00、13:30~16:00) 交流会(16:00~)	JICA/JOICA参考 長縄 肇	"
8/20	水	講義	日本の森林・林業の概要	日本の森林・林業の現状と課題及び展望 (10:00~12:00、13:00~16:00)	JOICA参考 長縄 肇	"
8/21	木	講義	日本の森林・林業の概要	①日本の林政を担う組織と機能 ②森林関係の法体系と森林計画制度 (10:00~12:00、13:00~16:00)	JOICA 参考長縄 肇	"
8/22	金	講義 視察	(OBIC→現地) 地方行政と森林	帯広市の森林政策・林業政策及び緑の環境モデル都市の概要 (10:00~12:00:講義/13:30~15:30:視察)	帯広市都市建設部 みどりの課みどり花の係 小丹枝 祐美	"
8/23	土			休日		"
8/24	日			休日		"
8/25	月	講義 視察	a.m.日本の森林・林業の概要	①日本の森林技術(植樹) ②日本の森林技術(造林) (10:00~12:00、13:30~16:00)	JOICA 参考長縄 肇	"
8/26	火	実習 視察	(OBIC→現地) 地方行政と森林	帯広の森・はくくーむ (帯広の森の育成管理、利活用)の拠点施設 開校、木工実習(10:30~12:00、13:30~15:30)	帯広市都市建設部 みどりの課みどり花の係 小丹枝 祐美	"
8/27	水	講義 討論	森林保全と人間活動の共生	人々と森林ー日本の土地所有制度と森林 (10:00~12:00、13:00~16:00)	JOICA 参考三島 征一	"
8/28	木	視察	(帯広→新得) 森林資源の持続的利用	雄略ほだ木遊覧(9:30~10:30) 雄略出荷センター他(11:00~12:00、13:00~14:30)	新得町農林課課長 大山 康幸 新得町しいたけ生産組合副組合長 関根 悦朗	"
8/29	金		振り返り①	自国/他地域での森林管理にかかわる現状と課題をテーマに 研修員間で情報交換、議論(10:00~12:00、13:30~15:30)	JOICA 参考長縄 肇	"
8/30	土			休日		"
8/31	日			休日		"
9/1	月	講義 実習	参加型手法	PCM手法(10:00~12:00、13:00~16:00)分析	JOICA参考長縄 肇 / 研究員滝永佐知子 研究員 / 松本さほり	"
9/2	火	講義 実習	参加型手法	PCM手法(10:00~12:00、13:00~16:00)分析	JOICA参考長縄 肇 / 研究員滝永佐知子 研究員 / 松本さほり	"
9/3	水	講義 実習	参加型手法	PCM手法(10:00~12:00、13:00~16:00)分析	JOICA参考長縄 肇 / 研究員滝永佐知子 研究員 / 松本さほり	"
9/4	木	講義 実習	参加型手法	PCM手法(10:00~12:00、13:00~16:00)分析	JOICA参考長縄 肇 / 研究員滝永佐知子 研究員 / 松本さほり	"
9/5	金	講義 実習	参加型手法 討論	PCM手法(10:00~12:00、13:00~16:00) 実証(含むモニタリング手法)	JOICA参考長縄 肇 / 研究員滝永佐知子 研究員 / 松本さほり	"
9/6	土			休日		"
9/7	日		(帯広→えりも)	休日		えりも
9/8	月		(えりも→帯広) 森林保全と人間活動の共生	えりも緑化事業(9:00~11:30) 地域住民との対話集会(12:30~15:00)	日高南部森林管理署 署長 野藤 昌弘 紋別山山技術官 平井 美晴 主任山山技術官 佐藤 司葉 えりも町役場 産業課長 石川 慎也 えりも町漁業協同組合 ひだか南森林組合 JOICA参考長縄 肇	帯広
9/9	火	実習	(帯広→糠平) 森林資源の把握	森林情報収集(10:30~12:00、13:00~15:00)	日本森林林業振興会札幌支部 帯広支所 松原 慎時	"
9/10	水	講義 視察	(帯広→本別→足寄→阿寒) 日本の森林・林業の概要	国有林の森林経営(10:30~12:00、13:00~15:30)	十勝東部森林管理署 署長 横山 誠二 主任森林監理官 西村 博 紋別山山技術官 額見 仁	阿寒
9/11	木	講義 視察	(阿寒→釧路) 森林保全と人間活動の共生	民有林における森林保全活動(10:30~15:00)	前田一歩園財団 課長 酒井 賢一	釧路
9/12	金	講義 視察	(釧路→樺太) 森林造成技術	パイロットフォレスト (10:30~12:00、13:00~15:30)	根釧西部森林管理署 署長 佐藤 稔 地域林政調整官 加納 正幸 真竜森林官 長谷川 学 滝の上第二森林官 西口 豊樹	"
9/13	土	講義 視察	森林の生物多様性保全の 状況 湿地生態系保全	湿地における野生生物保護(10:00~12:00) 釧路湿原視察(13:00~15:00)	(株)猛禽類医学研究所 代表・獣医師 斎藤 慶輔 釧路湿原展望台(長縄)	"
9/14	日			休日		"

月日	曜日	形態	項目	プログラム	講師または担当機関	宿泊
9/15	月			休日		〃
9/16	火	講義 視察	(釧路→浦幌→豊頃→帯広) 日本の森林・林業	①道有林の森林施業 ②大断面集成材を使用した庁舎の紹介 (13:00～15:30)	北海道十勝総合振興局森林室 森林整備課長 伊藤 一磨	帯広
9/17	水	講義 視察	日本の森林・林業の普及	日本の森林・林業技術普及の概要及び 普及方法並びにケニア等諸外国等の森林・林 業ケーススタディーの事例 (10:00～12:00,13:00～16:00)	JOFCA 参与長嶋望	〃
9/18	木		(帯広→名寄)			名寄
9/19	金	討論	森林造成技術 (名寄→札幌)	FSC森林認証取得に至るプロセスと評価及びカラムツ・トドマツ CoC取得の製材工場(10:00～12:00,13:00～16:00)	下川町森林組合 業務課課長補佐 渡辺大介	札幌
9/20	土					札幌
9/21	日			休日		〃
9/22	月	講義 視察	(札幌→富良野→札幌) 森林資源の持続的利用	東京大学演習林の森林経営法 東大演習林概要・林分施業法 (10:30～12:00,13:00～15:00)	東京大学演習林 林長 芝野 博文	〃
9/23	火	講義	森林の生物多様性保全の 種々の状況	森林と海津(10:00～12:00,13:00～16:00) (講義場所:JICA北海道)	北海道大学名誉教授 松永 勝彦	〃
9/24	水	講義	森林資源の持続的利用	北海道森林管理局表敬訪問(8:20～9:30) 講義:北海道の道有林概観(9:30～11:00) 北海道庁表敬訪問(11:30～12:00)	北海道森林管理局企画調整部 企画課長 尾前 幸太郎 林務局長表敬 担当:主査(国際交流) 橘 浩	〃
9/25	木	講義 視察	(札幌→支笏湖) 森林資源の持続的利用	北海道森林管理局の森林施業 (10:00～12:00,13:00～15:30)	北海道森林管理局企画調整部 企画課長 竹中 寛史 総務企画係長 土屋 修久	〃
9/26	金	講義	(札幌→美瑛) 午前:企業の新づくりにおける活動事例 午後:持続可能な天然林施業のための 更新戦略	持続可能な天然林施業のための更新戦略(10:30～12:00) 森林資源配属方法 (森林GISの概要→GISに必要なデータの取り方を含めて) (13:00～15:00)	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構研究本部 林業試験場 森林資源部経営グループ主査 大野豊之 緑化樹センター緑化グループ 主査 櫻橋生子	〃
9/27	土			休日		〃
9/28	日			休日		〃
9/29	月	講義	午前:地方行政と森林 午後:森林の生物多様性保全の 種々の状況	北海道の森林行政 (10:00～12:00) 北海道の自然環境科学研究 (13:30～15:30) (講義場所:JICA北海道)	北海道庁水産林務部林務企画グループ 主査 佐川能人、森林環 境局森林活用課 みどり対策グループ主査兼中 直樹 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 環境・地質研究本 部 環境科学研究センター 自然環境部 研究主幹 半野裕之	〃
9/30	火	講義 視察	(札幌→江別) 森林の生態・生物多様性	育理と森林の遺伝資源 (10:30～12:00,13:00～15:30)	独立行政法人森林総合研究所林本育理センター 北海道育理場 育理課長 中田了五	〃
10/1	水	講義 視察	森林資源の持続的利用	森林施業の基礎知識(10:30～12:00,13:00～15:30) (場所:森林総合研究所/午前:講義・午後:視察)	独立行政法人森林総合研究所北海道支所 森林施業の基礎知識担当	〃
10/2	木	講義	森林の生態・生物多様性	森林植物(10:30～12:00) 森林動物(13:30～15:30) (講義場所:JICA北海道)	独立行政法人森林総合研究所北海道支所	〃
10/3	金	表敬 講義 視察	(札幌→旭川) 森林資源の持続的利用	北海道林産試験場 場長表敬(11:00～11:10) ①「木材利用と付加」(11:10～12:00) ②北海道における林産物の利用 「林産試験場の概要と木材利用の有効性」 (13:00～13:40) ③「ヤナギの植栽によるエタール生産」(13:40～14:20) ④ 試験案内(14:20～15:30)	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場場長 菊池 伸一 利用部マテリアルG主査 佐藤 真由美 利用部マテリアルO主査 本間 千晶 利用部バイオマスG主査 本間 千晶 企業支援部普及調査G主査 三好 秀樹	〃
10/4	土	講義 視察	森林の生物多様性保全の 種々の状況	市民と自然とのふれあい (自然ふれあい交流館) (13:30～15:30)	自然ふれあい交流館副館長 松井則彰 普及啓発員 爾谷真知子	〃
10/5	日	移動	(札幌→帯広)	休日		帯広
10/6	月	講義	海外における 日本の森林・林業協力	JICAによる林業協力 (10:00～16:00)		〃
10/7	火	講義 討論	森林保全と人間活動の共生	住民参加による森林管理 (10:00～12:00,13:00～16:00)	北海道大学大学院農学部 教授 柿澤 宏昭	〃
10/8	水	講義 視察	森林資源の持続的利用	落葉広葉樹林施業研究 (10:30～12:00,13:00～16:00)	九州大学北海道演習林 林長 久米 篤	〃
10/9	木	講義 視察	森林資源の持続的利用	木質バイオマスエネルギー利用(ペレットの製造及び利用) (10:00～12:00) バイオマスエネルギーの利用(13:00～14:30) ペレット工場(15:00～16:00)	足寄町長 阿久津 勝 経済課林業商工観光地産資源エネルギー担当主査 村石 靖 マルシヨウ技研(株)代表取締役 菅原 智典 中島	〃
10/10	金	視察	学校訪問	国際交流の推進(Aグループ10:35～12:10豊道町立瓜蒌小 学校、Bグループ10:05～13:45基別町立達来小学校)	JICA北海道(帯広)	〃
10/11	土			休日		〃
10/12	日			休日		〃
10/13	月			休日		〃
10/14	火	講義/視察 討論	森林造成技術 インテリムドラフト作成指導	苗圃・苗木づくり(9:30～12:00) インテリムレポートドラフト作成指導 (14:30～16:00)	(有)大坂林業 代表取締役 大坂和雄 JOFCA 参与 長嶋望	〃

月日	曜日	形態	項目	プログラム	講師または担当機関	宿泊
10/15	水	討論	インテリムレポート作成指導	インテリムレポート作成指導 (10:00~12:00,13:30~16:00)	JOICA 参与 長縄肇	"
10/16	木	講義 視察	(帯広→本別) 森林保全と人間活動の共生	森林組合の活動(含む木材等林産物の販売) (10:00~12:00,13:30~16:00)	本別町森林組合 参事 新谷幸政	"
10/17	金	討論	振り返り③	自国/担当地域の森林管理にかかる現状と課題をテーマをもとにこれまでの研修振り返り (10:00~12:00,13:30~16:00)	JOICA 参与 長縄肇	"
10/18	土			休日		"
10/19	日			休日		"
10/20	月	講義 実習	森林資源の持続的利用 森林造成技術	間伐材利用促進(9:30~11:30) 森林修復のための技術(内3ネットコンによる森林造成) (13:30~16:00)	(株)サトウ専務取締役 松永秀司 帯広NPO28サポートセンター理事長 千葉美子	"
10/21	火	移動	(帯広→東京)			東京
10/22	水	表敬 講義	午前:日本の森林・林業の概要 午後:日本の森林・林業に関する制度	林野庁表敬訪問(P)(10:00~10:10) 講義:国有林の森林経営(10:30~12:00) 日本の保安林制度(13:30~15:30) (農林水産省4F会議室)	森富企画課 企画官 小島健太郎 池山課 園藤誠	"
10/23	木	講義	午前:森林の生物多様性 保全の種々の状況 午後:日本の森林・林業に関する制度	地球温暖化防止での森林の役割 (10:30~12:00) 森林組合制度の概要(13:30~15:30) (農林水産省4F会議室)	計画課 調査官 松正康 経営課 課長補佐 猪股 英史	"
10/24	金	講義	森林保全と人間活動の共生	持続的な森林管理の基準指標 (10:30~12:00,13:00~16:00) (林友ビル6F会議室)	東京大学農学部 教授 白石 則彦	"
10/25	土			休日		"
10/26	日	見学	(東京→御殿場)	作業体験 ギンビール工場視察	森づくり・土に帰る木森づくり運動代表理事 関田 喬	"
10/27	月	講義 実習	森林ボランティア活動の概要 木工教室	森林ボランティア活動の概要 木工教室	森づくり・土に帰る木森づくり運動代表理事 関田 喬	"
10/28	火	講義	森林保全と人間活動の共生	池山技術(含む住民参加による森林の保全防止) (10:30~12:00,13:30~15:30) (林友ビル6F会議室)	(株)森林テクニクス 業務課課長補佐 佐保 昇児	"
10/29	水	講義	(東京→西武新宿線南大塚) 森林資源の把握	森林管理におけるGISの利用事例及びGIS実習 (13:00~17:00)	(株)朝日軌道 興泉 敦	"
10/30	木	講義	午前:森林認証制度 午後:日本の森林・林業に関する制度	ITTO プロセス (10:30~12:00) 日本の森林・林業に関する法制度(13:00~15:00) (林友ビル6F会議室)	ITTO Mr. Johnson 東京農業大学客員教授 澤登 秀英	"
10/31	金	講義 交流	森林保全と人間活動の共生	持続可能な森林経営の確立(ギンビール社)(13:00~17:00) 交流会(17:15~19:00) (林友ビル6F会議室)	JOICA 会長 小澤 善昭	"
11/1	土					"
11/2	日	移動	(東京→石垣島)			石垣
11/3	月			休日		"
11/4	火	講義 視察	森林の生態・生物多様性	沖縄の森林の概要・保護林の概要 西表島の国有林(13:30~16:30) (場所:石垣地方合同庁舎)	九州森林管理局 西表森林環境保全ふれあいセンター所長 上原自然再生指導官井田 篤雄	"
11/5	水	講義 実習	(石垣島→西表島) 森林の生態・生物多様性	マングローブ林の保全・保護 (10:00~12:00,13:00~16:00)	九州森林管理局 西表森林環境保全ふれあいセンター所長 上原自然再生指導官 井田 篤雄 生態系管理指導官 吉田 真佐也 自然再生指導官 渡邊 昭博 専門官 江口 順雄	"
11/6	木	講義 実習	(石垣島→西表島) 森林の生態・生物多様性	10:30~12:00: 講義 森林育理 13:00~15:00: クロウン増殖技術実習	西表森林技術所 園長 板鼻 直樹	"
11/7	金	講義 実習	(石垣島→西表島) 森林の生態・生物多様性	10:30~12:00: 講義 森林育理 13:00~15:00: クロウン増殖技術実習	西表森林技術所 園長 板鼻 直樹	"
11/8	土		移動	(石垣島→帯広)		帯広
11/9	日	討論	インテリムレポート	インテリムレポート作成(10:00~12:00,13:30~15:30)	JOICA 参与 長縄肇	"
11/10	月	討論	インテリムレポート	コースリーダーによるインテリムレポートに関する指導 (10:00~12:00,13:00~16:00)	JOICA 参与 長縄肇	"
11/11	火	討論	インテリムレポート	コースリーダーによるインテリムレポートに関する指導 (10:00~12:00,13:00~16:00)	JOICA 参与 長縄肇	"
11/12	水	討論	インテリムレポート	a.m. 評議会 p.m.インテリムレポート発表会	JOICA 参与 長縄肇 JICA	"
11/13	木	討論	インテリムレポート	インテリムレポート発表会・閉講式	JOICA 参与 長縄肇 JICA	"
11/14	金	その他		帰国		"

年度別受入実績表

1. 応募／受入 人数

	平成25年度	平成26年度	累計
応募数	22名	24 名	46名
受入数	14名	14 名	28名

2. 研修員の出身国

○男性 ●女性

国 名	平成25年度	平成26年度	累計
ブルキナファソ	○○	●○	4名
エチオピア	○	○	2名
インド	○	○	2名
ケニア	○	●	2名
ラオス	○	○	2名
マラウイ	●	○	2名
ミャンマー	○	○	2名
ネパール	○	○	2名
パプアニューギニア	○	○	2名
タンザニア	○	○	2名
東ティモール	●○	○	3名
カンボジア	●	○	2名
タイ		●	1名
計	12ヶ国 14名	13ヶ国 14名	13ヶ国 28名



独立行政法人国際協力機構 北海道国際センター（帯広）
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL：0155-35-1210 FAX：0155-35-1250
ホームページ：www.jica.go.jp/obihiro/
メール：jicaobic@jica.go.jp